

平成29年度庄原市外国語教育推進に係る取組のまとめ

「小中連携」を柱として授業研究及びワークショップを行い、小・中学校教員が共に本市「外国語教育推進」に努めてきている。特に、今年度は、次期学習指導要領小学校の外国語教科化に向け改訂内容の確認や今後取り組むことについて研修を行った。中学校入学前や中学校卒業時の児童生徒の姿について授業研究を通して共有し、具体的なイメージをもつことができています。

◇外国語教育に係るワークショップ

平成 29 年 8 月 17 日 (木) 開催
場所 : 庄原市田園文化センター

【内容】

- ①“Classroom English ”
ALT Jesse Benjamin Noe
- ②“外国語教育の今後の方向性”
高野小学校 伊達 詩恵 教諭
- ③“絵本を使おう”
板橋小学校 六原 三枝 指導教諭
- ④ “Let’ s Try English Speech!”
口和中学校 伊澤 知弥 教諭
美古登小学校 穂山 佳愛 教諭

- 小学校の教科化をテーマに小学校教員が英語を使用できるための内容や指導の際留意すべきことなどについて研修した。
- 小学校の活動が中学校の授業につながるよう中学校で行っている表現活動を模擬体験した。

【研修の様子】



◆参加者より◆

- ・改訂のポイントがよく分かった。
- ・本を読み聞かせするだけでなく色々な提示の仕方・工夫があることを知ることができた。
- ・中学校英語を体験し、自分自身も英語を話す機会を増やしていきたいと思った。
- ・体験的に学べて楽しかった。
- ・文字の指導のポイントが分かった。配慮すべき点があればもう少し聞きたかった。
- ・とっさの判断により英語で話すという普段あまりできていないことを体験した。児童に何とかして相手と伝え合う楽しさを感じさせてやりたい。
- ・中学校でも小学校での学習との関連性をしっかりもたせたいと思った。



絵本のストーリーをどう表現するかグループで考え、伝え合いました。
ジェスチャーや劇などで表現しています。

◇第1回外国語教育研修会

平成 29 年 9 月 5 日 (火) 開催
場所 : 庄原中学校
授業者: 福原 理恵 教諭

授業公開: 第3学年
” To Our Future Generations”

- ICT 機器の活用を通して、生徒の主体的な学びを促す授業づくりであった。生徒のやり取りを教師用タブレットで効果的に捉え、画像で紹介することにより、生徒の理解を深めることができていた。

◆参加者より◆

【授業について】

- ・導入の2分間チャットが参考になった。
- ・導入の生徒の会話の様子から、普段から英語を取り入れて授業が展開されていることが分かった。
- ・義務教育9年間の締めくくりの姿をイメージすることができた。
- ・ICT活用に向け、授業者が十分研修され、機器を使いこなしていた。

【研究協議について】

- ・小中連携を通して各学校の取組、悩みを共有できてよかった。
- ・小学校教諭の指導力も課題であり、校内研修を進めていきたい。

◇第2回外国語教育研修会

平成29年12月11日(月)開催

場所：高小学校

授業者：吉岡 欣哉 教諭

ALT Nicola Stone

授業公開：第6学年

“What time do you get up?”

- 教科化に向け、児童同士や教員との英語のやり取りを充実させた授業づくりであった。音声と共に文字を提示し、児童の文字に対する意欲も喚起した。
- 担任が主体的に英語で表現しようとする姿が児童のよいモデルとなっていた。

【研究授業について】

- ・外国語に慣れ親しむためのトークタイムが参考になった。
- ・授業の雰囲気づくりが印象に残った。授業者が積極的に英語を使ったり、表情豊かに楽しく表現したりしていたので、児童も楽しく活動に取り組んでいた。

【研究協議について】

- ・文部科学省からの資料について共有する。
- ・来年度を考えると、扱う単語を増やすことや恥ずかしがらずにALTの発音を真似てみるなど英語が話せなくても担任でもできるベースづくりがあると分かった。

◇外国語教育推進(移行措置に係る)研修会 平成30年1月22日(月)14:00~庄原市総合体育館

- 学習指導要領の改訂に伴い、各学校において準備すべきことについて理解するとともに、自校の次年度指導計画作成に資するため研修会を行った。
- 来年度に向けて準備することを説明し、参加者全員で指導のポイントについて演習を交えた研修を行った。

【アンケート調査等の結果】(%) (種類 市：市アンケート 県：「基礎・基本」)

種類	質問	平成27年	平成28年	平成29年
市	小学校外国語活動は役に立っている(中学生)	80.5	85.1	77.2
市	ALTとコミュニケーションを図ることが好き(小学生)	80.4	86.9	86.6
市	ALTとコミュニケーションを図ることが好き(中学生)	77.5	73.9	76.8
県	外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい(小学校)	71.9	78.5	73.7
県	外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい(中学校)	61.3	66.7	71.5

【「基礎・基本」定着状況調査の結果】(平均通過率%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
庄原市	78.0	79.5	82.1
広島県全体	68.2	69.6	72.4

【まとめ】成果(○)と課題(●)

- 次期学習指導要領改訂の内容を中心に研修を進めることができた。研修会においては、各学校の取組状況や課題について協議する場をもつことができ、市全体として共通理解を図りながら、平成30年度に向けた準備を進めることができた。
- 小学校・中学校の研究授業では、それぞれ改訂の内容を意識した指導に取り組む様子を見ることができ、各学校の今後の取組の参考とすることができた。
- ALTに研修会の参加をよびかけ、ALT同士の交流を行うことで横の連携につながった。
- 限られた時間設定の中での研修会であり、全体で共有すべきことも多く内容的に深まりに欠けるものもあった。
- 複式学級の指導については、課題も多いため具体的な指導場面を共有する場が必要である。
- 教員の授業力アップにつながる研修内容の充実を図る。